

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	3990500013
法人名	合同会社 まんさくの里
事業所名	グループホーム まんさくの里
訪問調査日	平成21年2月4日
評価確定日	平成21年5月21日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家 族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	3990500013		
法人名	合同会社 まんさくの里		
事業所名	グループホーム まんさくの里		
所在地 (電話番号)	土佐市塚地331番地1 (電話)088-854-1575		
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成21年2月4日	評価確定日	平成21年5月21日

【情報提供票より】(平成21年1月17日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成18年11月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18人
職員数	19人	常勤	14人、非常勤5人、常勤換算13.0人

(2) 建物概要

建物形態	併設 <u>単独</u>		<u>新築</u> / 改築
建物構造	木造		
	1階建ての	階 ~	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	20,000~25,000円	その他の経費(月額)	必要に応じて	円
敷金	有(円)	<u>無</u>		
保証金の有無 (入居一時金含む)	<u>有</u> (円)	有りの場合 償却の有無		有/無
食材料費	朝食	250円	昼食	350円
	夕食	400円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(1月17日現在)

利用者人数	18名	男性	1名	女性	17名
要介護1	5名	要介護2		5名	
要介護3	8名	要介護4		0名	
要介護5	0名	要支援2		0名	
年齢	平均 85.5歳	最低	65歳	最高	97歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	伊与木クリニック 内田脳神経外科 ひろせ整形クリニック 塩田歯科
---------	----------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

市内の繁華街から少し離れた場所にあり、前には梨畑が広がる恵まれた環境にある。天然木の良さをふんだんに取り入れた落ち着いた室内は、利用者が生活するには恰好の事業所である。理念に掲げられた「笑顔が絶えず、利用者が主役となるサービス」を日々提供しており、利用者が満足して生活をしている様子が窺われる。利用者の細かい変化をしっかりと観察して介護計画に反映するとともに、事業所の課題を積極的に解決する計画の立案と実行がなされれば、より快適で安心した生活を支援できる可能性を持った事業所である。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価での改善課題は、すぐに解決可能な項目については取り組み改善されているが、時間を要する課題については残っている。今回の評価において新たな課題も出てきているので、全ての項目について具体的な改善計画を策定し、改善に向けた取り組みを確実に実行することを期待したい。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回と同様、今回も自己評価は管理者2名と計画作成者の計3名で行なっている。職員の課題に対する意識付けと改善に向けた動機付けを行なう為にも、職員全員で自己評価に取り組む体制が必要である。職員は真摯にケアに取り組んでおり、評価に取り組む体制を整えばケアの提供も更にランクアップすることが期待される。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>会議の出席者は地域代表者、民生委員、家族代表、事業所代表の4~5名で構成されている。内容は事業所からの報告が主であり、外部評価の内容の検討や希望・要望の抽出等は見られない。意見を出しやすい会の進め方を工夫し、課題の検討等を行うことにより、双方向的な会議になることを期待したい。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>意見箱を設置しているが、現在まで苦情や要望は出ていないとのことで、苦情発生時の手順等も定めていない。家族会も組織していないことから家族等の率直な意見を出す機会がないので、家族等の意見を運営へ反映させる工夫が求められる。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の清掃活動、お宮の清掃、集会所で行なわれる料理教室や体操教室等に参加し、地域住民との交流は盛んに行なわれている。近隣の小学校との交流も盛んであり、頻繁に行き来している。なお、より安心した生活支援を行うためにも、災害時における地域住民の協力体制を構築することが期待される。</p>

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域密着型サービスとして、独自に作り上げられた理念がある。 「地域の方々が気軽に立ち寄れ、入居者の笑顔が途切れることのない…」という、地域に根ざした事業所を目指す独自の理念が掲げられている。		
2	2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 ミーティング、職員会、日々の業務の中で理念を意識付けしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 利用者が不穏になった時でも、理念に基づき笑顔が出せるよう日頃から話し合い対応している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に加入している。 管理者が町会員であり、事業所として別途加入する必要はないのではないかと町の町内会からの意見があり加入していない。 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 地域の清掃活動、集会所で行われる料理や体操教室などに参加している。また、近隣の小学校との交流も盛んである。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p><input type="checkbox"/>サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。</p> <p>管理者と計画作成者で作成しており、職員全員で取り組んでいない。</p> <p><input type="checkbox"/>評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。</p> <p>前回の評価で見出された課題について改善計画を作成しておらず、短期的に取り組む可能な課題については改善されているが、長期的に取り組まなければならない課題については具体的な検討がされていない。</p>	○	<p>職員全員が自己評価に取り組むことにより、ケアを振り返り、意識の統一を図る機会となるので、評価の取り組み方法及び活用方法について検討することを期待したい。また、改善計画を作成し改善に向けて取り組むことにより、進捗状況や新たな問題点などが明らかとなり、職員も実施目標として進めやすくなるので、改善計画を立て、取り組むことを期待したい。</p>
5	8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p><input type="checkbox"/>会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。</p> <p>会議の内容は事業所からの報告が主であり、外部評価の内容の検討や希望・要望の抽出等は見られない。</p> <p><input type="checkbox"/>評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。</p> <p>外部評価の結果について運営推進会議に報告していない。</p>	○	<p>事業所からの報告だけで終わるのではなく、参加メンバーから課題・要望等を引き出し、事業所にフィードバックするような双方向的な会になるように取り組むことを期待したい。また、評価で明らかになった課題についても運営推進会議に報告し、参加メンバーからの意見を取り入れ、取組状況のモニタリングも受けながら、改善に向けて取り組むことを期待したい。</p>
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。</p> <p>日々の取り組みの中で疑問や相談があれば市の担当窓口で随時出向している。また、市からの問い合わせもあるなど、互いに連携を図っている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 家族来訪時には必ず声をかけ、近況報告を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 月に1回の「まんさく便り」に加え、個人ごとに手紙を同封し、希望者には写真も送っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告している。 <input type="checkbox"/> 金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 家族の来訪時に確認してもらいサインをもらっているが、支出の根拠となるレシート等の写しは保管していない。	○	金銭の確認には証拠となる領収書・レシート等の保管が重要であるので、金銭管理について改善することが望まれる。
8	15	家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 家族会が組織されておらず、事業所と家族の間では個別に話は出来るものの、家族同士が話し合う環境が整えられていない。 <input type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 苦情発生時の手順が定められておらず、事例等の検討もされていない。	○	率直な意見を出しにくい家族や利用者のことを考え、家族同士が話し合える環境を作るとともに、サービスの質の向上を図るためにも、意見や苦情があった場合の対応の手順を定め、課題や事例の検討を行うことを期待したい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 異動はほとんど無く、馴染みの職員が支援する体制となっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。 引継ぎ期間は1週間程度取っており、スムーズに移行ができるように配慮している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p><input type="checkbox"/>日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。</p> <p>本年度、外部研修に参加したのは、必須の研修を含め4回である。パート職員も研修への参加機会はあるが、参加者が少ないのが現状である。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。</p> <p>職員会議やミーティング時に研修内容を報告するようにしている。</p>	○	職員を育てサービスの質の向上を図るためにも、積極的に内部・外部を問わず研修の機会を増やし、職員を育てる取り組みを行うことを期待したい。
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。</p> <p><input type="checkbox"/>管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。</p> <p>市内の事業所とはイベント等での交流はあるが、意見の交換やサービスの質の向上につなげるような勉強会等の交流までには至っていない。</p>	○	事業所同士の交流は互いの悩みの解消や意見交換の重要な場となるので、単なるイベントへの参加に留まらず、意見交換や勉強会等の機会を持つことを期待したい。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めるとともに、本人、家族等の意向も確認している。</p> <p>入居時に家族や本人から状況の把握と意向の確認をしている。医療施設等から入居する利用者については情報提供書ももらっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。</p> <p>見学してもらい、可能であれば一緒にお茶を飲み、雰囲気味わってもらっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者には、複数の職員が面接を行っている。</p> <p>管理者と複数の職員で面接を行っている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、支援する側、される側という認識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p>食事の下ごしらえ、配膳、洗濯物たたみ、買い物などを一緒に行い、協働生活を構築している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員は利用者と共に暮らす者同士として、「哀しみ」、「不安」、「喜び」、「楽しみ」などの本人の思いを共感し、理解している。</p> <p>不穏な時は時間をあけて対応するなど、利用者のその時の表情を見て個別に対応し、本人の思いを理解するようにしている。</p>		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。</p> <p>利用者と家族の双方から希望を聴き、日頃の生活の中からも思い等を引き出し、把握するようにしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。</p> <p>家族はもちろん関わりのある人から情報を得、身寄りのない利用者については行政等からも情報を得るようにしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p><input type="checkbox"/>本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。</p> <p>本人や家族の希望は聴取しているが、どちらの希望か区別がつかない場合や、計画に明確に反映されていないケースが見受けられる。</p> <p><input type="checkbox"/>アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。</p> <p>評価は3カ月に1回実施しているが、モニタリングが出来ていない。カンファレンスは月に5～6回実施しているとのことであるが、カンファレンスの記録が残されていない。</p>	○	<p>希望や要望は利用者本人と家族の区別を明確にすることで、より実態に即した介護計画に繋がるものであり、検討が望まれる。また、利用者の変化をしっかりとつかむためにもカンファレンスの検討内容を記録することが望まれる。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 3カ月に1回見直している。 <input type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直し、計画内容に応じた個別の期間設定をしている。 介護計画の内容が6か月間変わらないという状況が見受けられる。	○	利用者から喜ばれるサービスの提供を心掛けているが、内容が常に一緒となると利用者は勿論、家族の不满にも繋がる可能性があるため、より細かい観察を行い、利用者の状態や希望に応じた介護計画を作成することが望まれる。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療機関と連携して、医療処置を受けながら事業所で生活が継続できるように努めている。 協力医療機関による週1回の往診と週1回の訪問看護を受け、事業所で医療処置を受けながら生活が継続できるように努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の状況に応じて、通院や送迎、特別な外出、外泊などの支援を行っている。 専門医療機関の受診、友人宅への訪問、お墓参り等、希望があれば事業所で対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。 かかりつけ医や市外の医療機関への受診なども希望があれば対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。 受診の結果は医師、家族、事業所が互いに把握できる体制になっている。事業所内においても連絡ノートを活用し共有に努めている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 終末期の対応方針は備えているが、家族、医師、看護師等関係者が話し合っ作成したものとはなっていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられるように取り組んでいる。 最期を事業所で送りたいとの希望があれば対応できる体制を整えている。	○	利用者が安心して事業所での生活を送るためにも、関係者が話し合い、連携のもとに作成された指針を定めることを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。</p> <p>あからさまに「トイレ」「風呂」といった言葉は使用せず、さりげない言葉かけに配慮している。</p> <p><input type="checkbox"/>他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。</p> <p>関係者以外には利用者のプライバシーについて話さないように心掛けているが、利用者の近隣の方であれば顔見知りであり話をすることもあるとのことである。</p> <p><input type="checkbox"/>全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。</p> <p>採用時の研修で個人情報保護法についての話をするだけで、日常的に研修等は行っていない。</p>	○	近所の顔見知りの方とはいえ利用者の個人情報については話さないことを徹底するとともに、日常的に個人情報保護法についての理解を深め、周知徹底することが望まれる。
21	52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりが「その日」にどのように過ごしたいかを把握し、それに応じて柔軟に支援している。</p> <p>利用者の希望には対応するようにしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。</p> <p>基本的なスケジュールはあるが、無理強いをすることなく利用者のペースに合わせて支援している。</p>		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。</p> <p>衛生管理上のことを考慮し、食材を切る程度の下ごしらえや配膳等を行なってもらい、一緒に進めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。</p> <p>二日に1回の入浴が多いが、希望すれば毎日の入浴も対応可能な体制を取っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。</p> <p>拒否が強い利用者には声かけを工夫して入浴支援を行っている。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握し、食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。</p> <p>野菜の選別、食材の下ごしらえ、切干大根作りなど、利用者が得意なことや知恵を発揮できるように取り組んでいる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。</p> <p>日常生活の色々な場面で、お願いをするという態度で接し、役割や楽しみごと等を作り出すための働きかけを行っている。</p>		
25	61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。</p> <p>近所のスーパー、行きつけの美容室、幼なじみの家の訪問など、外出支援を行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。</p> <p>車椅子使用の利用者も変わりなく外出している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。</p> <p>隣町の大型スーパーや近隣の観光地へ月1回程度ドライブに出かけている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>居室や日中玄関に鍵をかけていない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。</p> <p>利用者の行動の傾向は把握しており、見守りや言葉がけを工夫して対応している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。</p> <p>近隣の雑貨屋等との間で、声かけをしてもらえる関係を築いており、警察や消防署との連携も構築されている。</p>		
27	71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p><input type="checkbox"/>事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的実施している。</p> <p>本年度は火災訓練を1回実施しているが、地域住民の参加は得られていない。</p> <p><input type="checkbox"/>避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。</p> <p>消防署等から災害時の避難場所を確認していない。消火器は2カ月に1回業者の点検を受け、水は十分に確保されているが、食料の準備が1食分程度しかできていない。</p>	○	<p>災害時には地域住民の協力が不可欠であるので、地域住民の参加による避難訓練を実施するとともに、避難経路の確認、利用者及び職員の数に応じた非常用食料の備蓄が望まれる。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p><input type="checkbox"/>一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。</p> <p>食事の摂取量は記録されているが水分の摂取量が記録されていない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。</p> <p>利用者の好みを把握しており、適宜メニューに取り入れている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。</p> <p>栄養士にメニューの内容を相談し、チェックしてもらっている。</p>	○	<p>水分の摂取量は高齢者の健康管理上大変重要なことであり、個人別に把握するためにも記録が望まれる。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。</p> <p>食卓テーブルや椅子だけでなく、ソファも完備し、皆でくつろげる空間となっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。</p> <p>折り紙や近隣の小学校から送られた小物を上手く飾りつけ、家庭的な雰囲気を壊していない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。</p> <p>節分の飾り付けを行うなど、季節の行事にちなんだ飾りや季節の草花を上手く取り入れて工夫している。</p>		
30	83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫している。</p> <p>利用者が使用していた家具や愛着ある物を居室に取り入れ、個別に工夫している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組んでいる。</p> <p>利用者の好きなものを準備し、居室に飾るなど配慮している。</p>		